

## 設置・取扱説明書

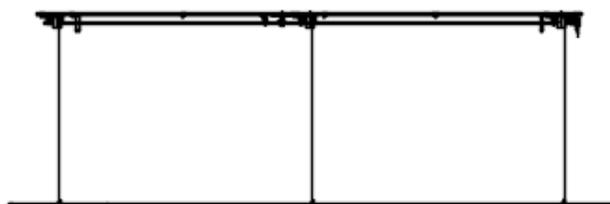
### お客様へ

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用にあたっては、説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。ご使用後は大切に保管し、必要なときにお読みください。

本機の取り付けについては、取付専門業者に設置を依頼してください。

- 取付専門業者につきましては、販売店または当社にお尋ねください。
- 工事を請け負われた工事業者のかたは設置完了後、この取扱説明書をお客様へお渡しください。



**BMS-TL4S4W20**

**BMS-TL6S4W20**

### もくじ

安全上の注意	2~3
お取扱上の注意	4
付属品の確認	4
仕様	5~6
組立手順	6~8
使用方法	9
維持管理・保全	10
FAQ（よくある質問）	11
保証について	12

## 安全上のご注意

安全のために、必ずお守りください。

本説明書ではお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

- 表示内容を見逃して誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



### 警告

この表示の欄は、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示の欄は、傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容を示しています。



## 警告



### バトンにぶら下がったり、引っ張ったりしない

本体またはバトンの破損の原因になり、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。



### 分解や修理・改造をしない

火災・感電の原因になります。

分解禁止

● 修理は、取扱店または当社までご相談ください。



### 動作中は、吊りバトンに近づかない

バトンパイプ、吊ワイヤー周辺は、思わぬけがにつながり、危険ですので近づかないでください。



### 吊りバトンには、均等荷重で最大吊荷重以上のものを吊らない

破損または落下の原因になります。

## 注意



**吊りバトンを下降、上昇させる時は、吊りバトン周辺を十分確認する**  
目視確認をせずに吊りバトンを下降、上昇させると、人や物に当たったりする恐れがあります。また障害物があると、吊りバトンを破損させる可能性があります。



**昇降の際には、バトンパイプが水平になっているかを確認する**  
バトンパイプに均等の荷重がかかるように、吊りもの位置を調整してください。バトンパイプが斜めのままで昇降させると、破損や脱落の原因になります。



**使用する際は、必ず運用責任者や管理者等の指示に従い行う**  
使用方法、安全遵守項目等を十分把握せずに使用すると思わぬ事故の恐れがあります。



**吊りバトンとしての用途以外の使い方をしない**

■ 取り扱い上の不備、または天災等による事故・損傷について当社は責任を負いません。

## お取扱上の注意

この製品は、次の点にご注意の上丁寧にお取り扱いください。

- 吊りバトンの操作は、操作員を選任して操作をお願いします。
- バトンパイプは、絶対に手で移動したり、揺らさないでください。
- 昇降動作範囲内に障害物が無いことを必ず確認してください。
- 吊り荷重は、均等荷重で最大吊り荷重を超えない範囲でご使用ください。
- 吊り物は、両端のワイヤーから外の部分にのみ吊らないでください。
- ワイヤー間の寸法と、バトン吊金具間の寸法は下図を参照して合わせてください。

## 付属品

※BMS-TL6S4W20 の場合 ( ) 内の数量になります。

クランクハンドル ×1



バトン吊り金具 ×2 (3)



ブラケット×5 (8)



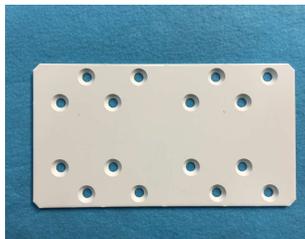
バトンパイプ ×2 (分割)



六角ボルト (M10×25) ×10 (16)、平座金 (呼び10径) ×10 (16)  
ばね座金 (呼び10径) ×10 (16)、六角ナット (M10) ×10 (16)

※以下の部品は、BMS-TL6S4W20 のみ付属します。

上部パネル用ジョイント金具A ×1

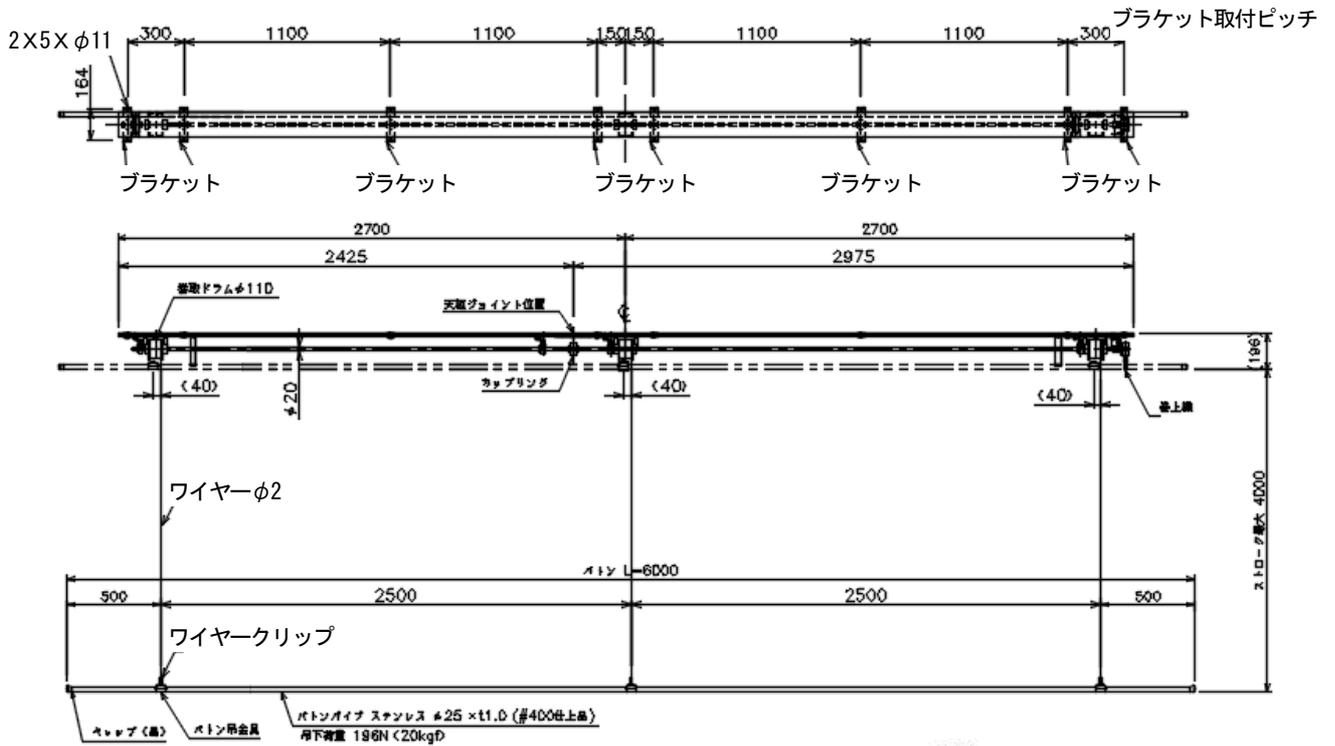


上部パネル用ジョイント金具B ×2

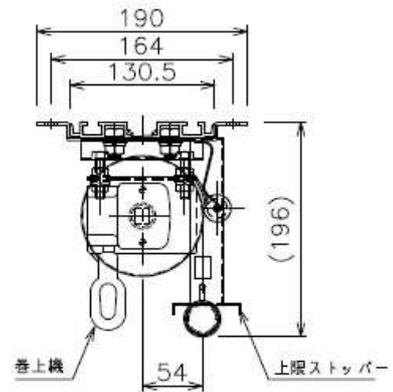


十字穴付き皿ねじ (M6×15) ×8





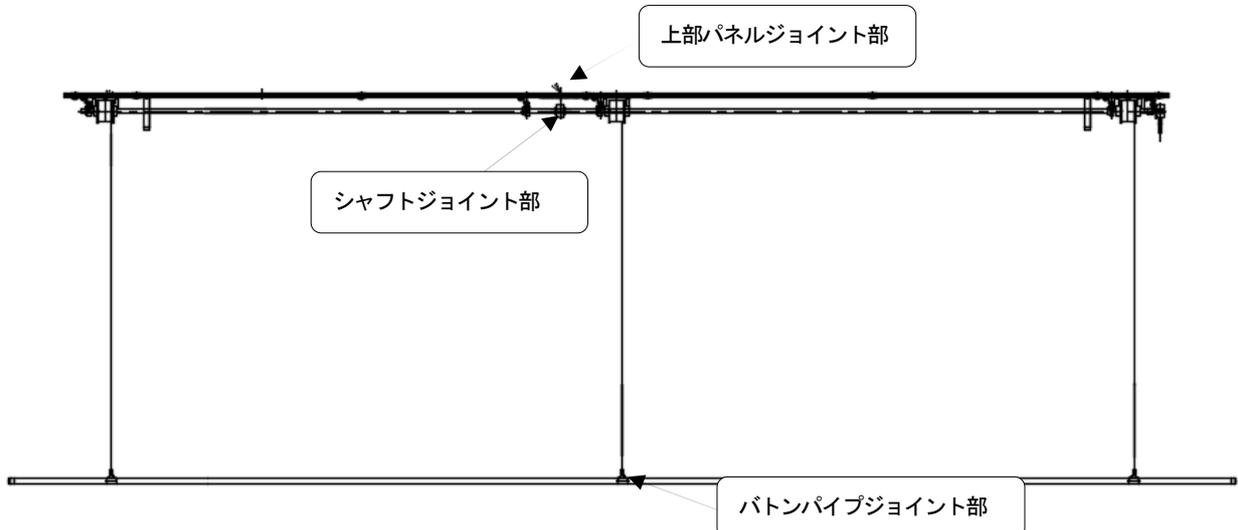
型式	BMS-TL6S4W20
吊荷重	196N (20kgf)
ストローク	最大 4000 mm
バトンパイプ	ステンレスφ25 L6000 mm
製品質量	38.0kg



### 組み立て手順

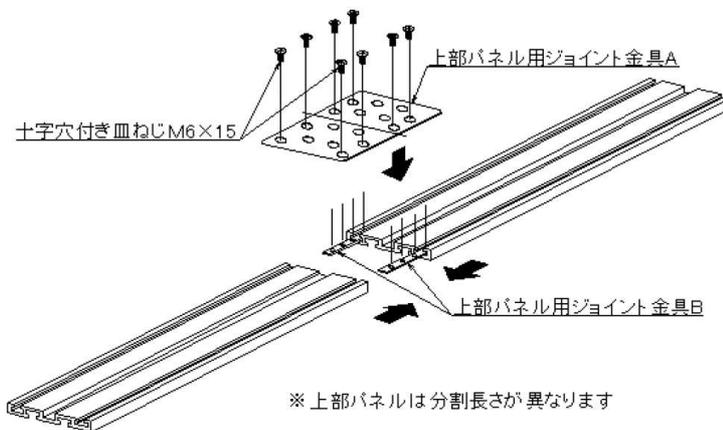
本製品は施工前にジョイント作業があります。

- ・ BMS-TL4S4W20 はバトンパイプ
- ・ BMS-TL6S4W20 はバトンパイプ、シャフト、上部パネルをジョイントします。



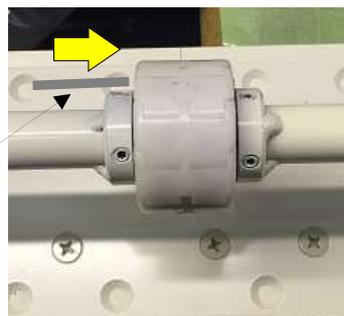
### <上部パネルのジョイント (BMS-TL6S4W20 のみ) >

- ・ジョイントする上部パネルを下図のように2枚並べます。
- ・片方の上部パネルの溝に上部パネル用ジョイント金具Bを挿入します。
- ・もう片方の上部パネルを上部パネル用ジョイント金具Bが溝に収まるようにジョイントします。
- ・上部パネル用ジョイント金具Aを上から重ね合わせて、金具の中心がジョイント位置にくるように調整しながらねじ止めします。
- ・上部パネル用ジョイント金具Aはザグリ穴加工がある側からねじ止めします。



### <シャフトのジョイント>

シャフト先端のスプロケットをカップリングで固定します。  
カップリングの継ぎ目に継手ピンを最後まで押し込んで  
固定してください。



継手ピン

### <バトンパイプのジョイント>

バトンパイプにジョイント部を差し込みねじ固定 (8箇所) します。ねじはジョイント部に固定されています。



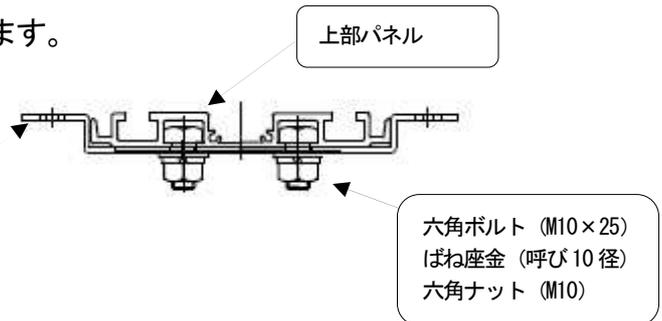
ジョイント部

### <ブラケットの取り付け>

アルミ天板に六角ボルト (M10×25) を通し、平座金 (呼び10径) ばね座金 (呼び10径) 六角ナット (M10) を使いブラケットを取り付けます。

ブラケットの取付ピッチについては4頁『仕様』を参照ください。

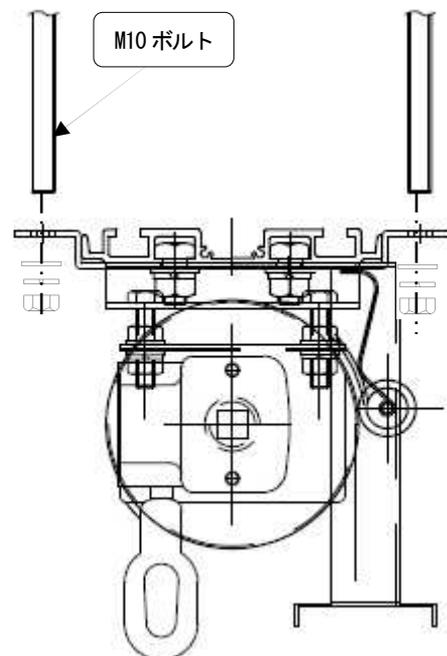
ブラケット



### <天井への取り付け>

ブラケットにボルトを通し平座金 (呼び10径) ばね座金 (呼び10径) 六角ナット (M10) にて固定してください。

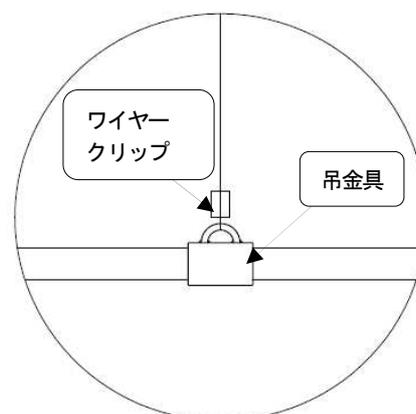
ボルト、平座金 (呼び10径) ばね座金 (呼び10径) 六角ナット (M10) については別途準備



### <バトンパイプの取り付け>

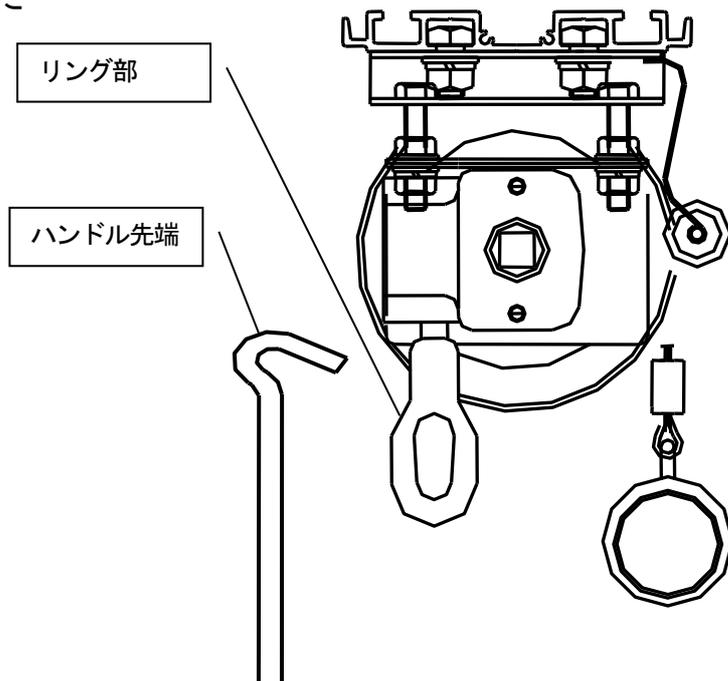
バトンパイプに吊り金具を取り付けます。ワイヤーを降ろし吊り金具とワイヤーを固定してください。

吊り金具位置は4頁、5頁の「仕様」の図を参照してください。



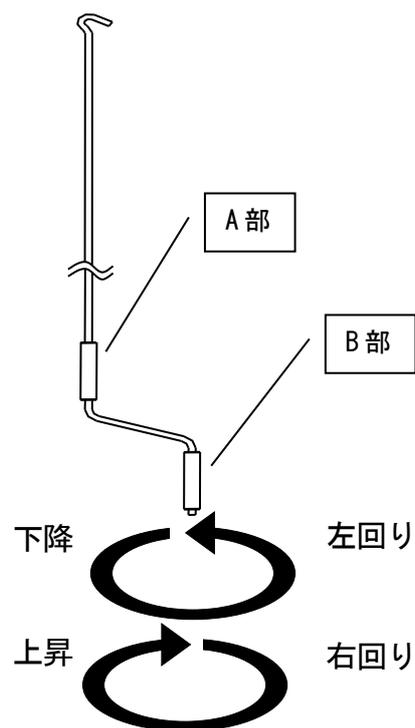
## 使用方法

- ① ハンドル先端をハンドル巻上機のリング部に  
引っ掛けます。



- ② ハンドルの A 部を軸に B 部を回してください。

上昇は右回し  
下降は左回し

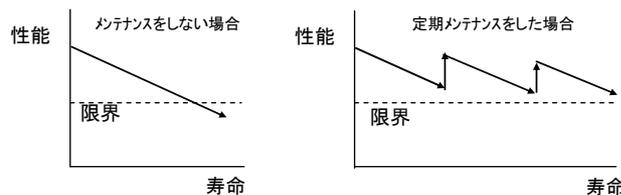


- ③ バトンをおろす時、ワイヤーの赤い印が見えたらストップしてください。  
(ワイヤーの赤い印は、ハンドル巻上機横のドラムに巻いてあるワイヤーについています。)

「懸垂物安全指針」（平成元年5月建設省通達）では、所有者、管理者は安全管理者を選任して、定期的に自主検査を行なう他、非常時には臨時に点検を行い、その結果を記録しておくことを推奨しております。

設備を長期間安心して安全且つ円滑に維持していくには、適正な維持管理・点検が必要です。保守、点検につきましては本誌末尾に記載のテクニカルサポートセンターまでご相談ください。

- 定期点検により劣化の度合いを把握し、故障の発生の前に部品を交換する事により、特性の変化やトラブルの発生を未然に防止することができます。
- 日常点検とは別に、半年に1回 定期点検（メンテナンス）をして頂く様お薦めします。



メンテナンスをしないと、ワイヤーが切れたり、上・下限停止位置がずれたりして、思わぬ事故になることも考えられ、安全面からも重要です。

（日常点検方法 及び判定基準） 使用当日・地震の後 下記の点検を行なってください。  
（懸垂物安全指針を参考としております）

点検箇所	点検基準	点検範囲	点検方法	摘要
バトン パイプ	キズや曲がりがないか。	巻出し状態、 運転状態での良否	目 視	地震後 に点検
	上・下限停止位置は、問題ないか。			
ワイヤー	折れ、素線の切れ、巻取り異常がないこと。	巻出し状態、 運転状態での良否	目 視	

※ 点検の結果、異常な箇所があった場合・少しおかしいと思う箇所があった場合は、ただちに使用をやめ、周辺に近づかない様にし、すみやかに販売店・取扱店または施工業者に連絡をして、点検を実施願います。

※ ワイヤーは消耗部品となります。

## FAQ(よくある質問)

症状	チェック	処置
ボタンが動作しない	ワイヤーが巻取りドラムのところからみついていませんか？	ワイヤーを固定側から順にドラムのミゾに沿って緩み無く巻いてください。
ワイヤーが巻取りドラムにからみついている	ボタンが障害物などの上になって、ワイヤーがたわんでいませんか？	ワイヤーを固定側から順にドラムのミゾに沿って緩み無く巻いてください。あわせて障害物を取り除いてワイヤーがピンとはるようにしてください。
ボタンパイプが斜めになっている	ボタンパイプに吊るしているものが片側に寄ってバランスが悪くなっていますか？	吊るすものはできるだけバランスが均等になるように吊ってください。

## ■ 故障の場合

修理が必要な場合は、取扱店またはテクニカルサポートセンターまでご連絡ください。  
この『取扱説明書』を紛失した場合は取扱店またはテクニカルサポートセンターにご相談ください。  
この製品を譲渡される場合は、次の所有者にこの取扱説明書をかならず添付して譲渡してください。

製品保証内容は以下の QR コード及び、  
URL より WEB サイトにてご確認ください。  
<https://www.os-prod.com/products/warranty/>



**製造販売元 株式会社 オーエスエム**

連絡先:株式会社オーエス テクニカルサポートセンター

〒557-0063 大阪市西成区南津守 6-5-53

TEL:0120-465-040 FAX:0120-380-496

(受付時間:平日 9:00~17:50 ※土日祝祭日を除く)

E-mail : [info@os-worldwide.com](mailto:info@os-worldwide.com)